

「台湾のゆく年くる年、広島と台湾、新たな動きへの期待」

歐 元韻

新年明けましておめでとうございます。

読者の皆様方が今回のハッピーメールをご覧になっている頃、日本ではちょうど仕事始めで忙しい時期かと思えます。一方、台湾では、この時期は旧暦でいうところの師走にあたり、1月20日からの旧正月休みに向けて街全体が慌ただしくなり、日本とは違った意味で忙しくなります。例年の旧正月は大抵2月に入ってからの場合が多かったのですが、今年はかなり前倒しで旧正月を迎えることとなります。その為、今回のハッピーメールでは読者の皆様方のお正月気分が完全に抜けきらないうちに、台湾のホットなお正月ネタをお届けしようと思えます。

＜一年で「ゆく年くる年」がダブルな台湾＞

台湾では旧暦でのお正月を重要視していることは良く知られています。しかし、近年では西洋の風習に倣い新暦の年の瀬も祝賀ムードに街全体が包まれます。なかでも台北101ビルディングのニューイヤー花火は特に有名です。各地方都市でも芸能人によるコンサートを開催する等、台湾版「ゆく年くる年」を祝います。この期間は最低でも2～3日の連休がとれますので、長期の旧正月休みとあわせて「毎年、ひと粒で二度おいしい？台湾のお正月休み」と日本人の知り合いにからかわれております。



【出所：台北101 ニューイヤー花火イメージ写真】

＜台湾も年の瀬は世相表す、今年の漢字＞

日本では毎年、年の瀬に一年を代表する漢字が発表されることで有名ですが、実は台湾でも2008年から日本同様、その年を代表する漢字を選び毎年12月に発表しております。台湾のトップ銀行、中国信託商業銀行と新聞大手の聯合報社が共同主催者となり、各界著名人、専門家、有識者並びに一般の方々によりその年を代表する漢字が選ばれます。2022年の台湾を代表する漢字は「漲」でした。この漢字は物価上昇や洪水の恐れを招く水位上昇、感情の起伏を表す際に

用いられる漢字です。意味そのものは「上がる」ですが、どちらかと言えば悪い意味での「上がる」場合に用いられます。ちなみに2022年を代表する漢字トップ10にランクインしたのは、何れも悪い意味を表す際に用いられる漢字で、この結果だけでも2022年が台湾にとってどのような年であったか伺えます。しかし、昨年秋には今年の1月4日から中華航空の広島台北線が運航再開という嬉しい知らせが発表されました。2023年は新年早々嬉しいスタートとなります。これからは、往来が活発化するので、そう言う意味では中華航空の飛行機は私にとっての「幸運を運んでくれる大きな白い鳥？」みたいな存在です。また大変気が早いのですが、今年2023年を表す漢字として、再起動からの「起」若しくは「動」を勝手ながらエントリーさせていただきたいと思えます。広島の皆さんからの台湾への「動き」「関心」もお待ちしております。

＜2023年 台湾商談展示会＞

台湾でも毎年、年間を通じて観光、食品、美容、工業機械及び半導体関連と各種様々な産業分野での商談展示会が開催されています。なかには業界関係者からの出展希望が殺到する展示会やバイヤーが必ず視察、見学に訪れる人気展示会も少なくありません。新年を迎えるにあたり、是非、この機会に台湾とのビジネスについて考えてみるきっかけになればと思い、2023年の主要展示会等の日程(予定)を以下にご紹介します。

日程	展示会名
3/3～6	TIMTOS 2023 機械工業工具機械部品展
3/22～25	台北国際自転車展
5/26～29	台北国際ワイン展&総合美酒展覧会
5/30～6/2	台北国際コンピューター展
6/14～17	FOOD TAIPEI 台北国際食品展
7/27～31	漫画博覧会/台北国際映画玩具創作展
8/4～7	台湾美食展
9/6～8	SEMICON TAIWAN セミコン台湾2023
10/12～14	台湾イノベーション技術博覧会
11/3～6	ITF 台北国際旅行展

【出所：中華民国対外貿易発展協会 TAITRA】

<https://www.twtc.com.tw/exhibition.aspx?p=menu1>

それでは、「ツキ」を呼ぶ円満な一年になりますよう、お祈り申し上げます。